

量の見込みについて

【1～3号認定、延長保育】

	単位	実績		量の見込み					
		24年度	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
1号認定	(人)	451	479	349	334	331	322	313	
2号認定	(人)	274	349	308	294	291	284	276	
教育ニーズ	(人)		51	56	53	53	51	50	
保育ニーズ	(人)	274	298	252	241	238	233	226	
3号認定	0歳(注1)	(人)	11	14	35	35	34	34	34
	1・2歳	(人)	127	113	151	145	142	139	137
時間外保育事業	(人)	114	112	139	133	131	129	126	

注1)3号認定0歳児の延長保育ニーズは、アンケートではほぼ100%の利用希望であった。

他方、現状の利用状況からは、利用せずに対応できる勤務形態や、祖父母がいるなどで利用していない人も少なくない。こうした状況を勘案して、現状との差分の5割が顕在化すると仮定して量の見込みを算出した。

【参考】認定区分について

- ・1号認定子ども：満3歳以上の学校教育のみ(保育の必要性なし)の就学前子ども
- ・2号認定子ども：満3歳以上の保育の必要性の認定を受けた就学前子ども(保育を必要とする子ども)
- ・3号認定子ども：満3歳未満の保育の必要性の認定を受けた就学前子ども(保育を必要とする子ども)

【一時預かり】

	単位	実績		量の見込み				
		24年度	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
一時預かり事業	(人日)	827	949	13,000	12,504	12,317	12,054	11,805
幼稚園の 在園児対象	1号認定	(人日)		2,569	2,454	2,430	2,367	2,298
	2号認定	(人日)		553	529	524	510	495
上記以外(注2)	(人日)	827	949	9,878	9,521	9,363	9,177	9,012

注2)24・25年度の実績は、保育園での一時預かりと、ファミリー・サポート・センター事業の未就学児の利用を合算したものの。

【トワイライトステイ、ファミリー・サポート・センター、病児保育】

	単位	実績		量の見込み				
		24年度	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
トワイライトステイ事業 (夜間養護等)	(人日)	0	0	0	0	0	0	0
病児保育事業、子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業[病児・緊急対応強化事業]) (注3)	(人日)	0	0	1,081	1,040	1,025	1,003	983
子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業) (就学児のみ)	(人日)		83	40	38	37	35	34

注3) 量の見込みの基礎となる利用日数は、この1年間の状況と利用希望の少ない方を採用した。
 利用料金の問題や、預けることへの抵抗も予想されるため、ニーズの5割が顕在化すると仮定して量の見込みを算出した。

【ショートステイ、地域子育て支援拠点事業、利用者支援、乳児全戸訪問事業、養育訪問支援事業、妊婦健診】

	単位	実績		量の見込み				
		24年度	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
子育て短期支援事業 (ショートステイ)	(人日)	0	0	17	17	17	16	16
地域子育て支援拠点事業 (注4)	(人回)	4,146	3,992	4,157	4,032	3,945	3,884	3,844
利用者支援事業	(か所)			1	1	1	1	1
乳児家庭全戸訪問事業	(人)	164	149	182	179	176	174	174
養育訪問支援事業	(人)	5	3	5	5	5	5	5
妊婦健診	(人)	182	217	182	179	176	174	174

注4) 実際の利用状況を反映して、実績は3歳以上を含む数値とした。
 利用回数は、現在の利用者の利用回数(現状と今後の意向の総計) + 新たな利用希望者の希望利用回数とした。
 現在の利用者が今後3歳以上になっても利用継続する分を、現状と新規の利用回数を加算することで便宜的に対応している。